

千葉県中核地域生活支援センターニュースレター

ちばの地域福祉

「中核地域生活支援センターシンポジウム2012」

千葉県中核地域生活支援センターシンポジウム実行委員長
中核地域生活支援センター 海匠ネットワーク 所長
吉野 智

千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会では、その時代における福祉情勢からテーマを取り上げ、年に1回シンポジウムを開催しております。

第4回目となる今年は、開催日を7月8日(日)、会場を千葉市文化センターとし「自殺対策を通して、中核地域生活支援センターの現代社会における意義と役割を考える」をテーマに掲げ開催しました。基調講演には、NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表の清水康之さんをお招きしました。

清水さんは、元NHK報道局ディレクターで、番組制作において自死遺児との出会いがきっかけとなり自殺問題に関心を持たれ、現在の活動に至っています。講演は、「自殺のない『生き心地のよい社会』へ」と題され、足立区における相談支援ネットワークの事例などから、「自殺はプロセスで起きているのだから、対策も『プロセス』で展開していく必要がある」と具体的に支援構造を提唱されるなど、自殺対策における先進的なお話を伺うことができました。また、シンポジウムでは、現在、厚生労働省においてモデル事業として実施されている「パーソナルサポートサービス」の受託事業所である、NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝事務局長の池谷啓介さん、中核地域生活支援センターがじゅまる所長の朝比奈ミカさんからも、それぞれの実践についてお話しを伺いました。

本シンポジウムでは、「自殺対策」を通して、多様な対象者、複合化する支援ニーズに対して、中核地域生活支援センターが持つ寄り添い型総合相談機能が果たすべき役割は何か、ということであらためて県民の皆様と考える機会といたしました。シンポジウムでご発言いただいた池谷さんのお話から、国レベルにおいても総合相談機能を模索している動きが見て取れましたが、千葉県では平成16年から中核地域生活支援センターにおいて総合相談機能の実践が積み重ねられ現在に至っている訳ですから、その時代の要請に応えうる県民の為のセンターとして、今後も努力を続けて行かなくてはならないと思いを新たにすることができるシンポジウムでした。

当日、シンポジウムにご参加いただきました皆様、そして、千葉県民の皆様への要請に応えうる中核地域生活支援センターとして、今後も機能を強化しながら発展させていければ幸いです。



わたしのまちの地域福祉

「障がいがあってもその人らしく、ともにいきいきと暮らせるまち」富津を目指して

富津市役所社会福祉課
副主幹 島津 太

富津市では平成 20 年度に「いきいきふっつ障害者プラン」第 2 次基本計画及び平成 23 年度に第 3 期障害福祉計画を策定し、障がい者が地域で安心して暮らせるまちづくりの指針を示し、各種障がい福祉サービスや制度の推進に努めております。

障がい者を取り巻く制度は大きく変化しており、障害者自立支援法、児童福祉法の一部改正、また平成 25 年度には障害者総合支援法の施行及び第 2 次一括法による市町村への権限移譲が行われ、市町村の役割はますます重要かつ複雑となってきております。

富津市では、これらの制度に対応するため平成 21 年度に富津市障害者自立支援協議会を設置し協議を行っております。平成 24 年度からは、下部組織に子ども部会・権利擁護部会を新たに設置し、地域生活支援部会・就労支援部会を併せた 4 部会により、さまざまな調査研究を行い、地域福祉の充実を図っております。

その中で地域生活支援部会では、地域で障がい者が安心して暮らせるための社会資源の調査等を行っております。

就労支援部会では、市内企業や事業所等への障がい者雇用に関するアンケートの実施、更に本年度は、障がい者への就労意向調査を行い、就労支援の推進を図っております。

子ども部会では、障がい児を育てる地域の体制整備事業を推進するために障がい児を育てる保護者や親子が交流できる場を確保し、ペアレントトレーニングやペアレントメンターの養成などの事業への取り組みを始めました。

子どもを地域で育てていくうえでは、福祉・教育・保健・医療等の関係機関が連携を図ることが最も重要な要素であり、このネットワークづくりを子ども部会が中心となって推進しております。

発達障害に関しては、臨床心理士、言語聴覚士及び県の療育等支援事業による発達障害児アドバイザーによる保育所・幼稚園・小学校等への巡回療育相談や市役所内での個別相談を実施し、早期発見・早期療育の支援を行っております。

権利擁護部会では、本年 10 月に施行される障害者虐待防止法や成年後見制度の利用促進に対応するための検討を行っております。

社会福祉課では、関係機関との連携強化と中核地域生活支援センター「君津ふくしネット」及び千葉県指定相談支援事業所「相談支援センター天羽」を中心に相談支援の充実を図り、富津市で暮らす全ての市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて努力しております。

ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

NPO 法人 WITH

代表 林幸子 氏

「障がいを持った子どものための放課後預かり支援」というニーズはあるものの、創設当時のこの圏域には、そのような社会資源はありませんでした。障害を持ったお子さんをお持ちのお母さんは、大抵子どもと家庭に閉じこもるほかないのです。私もその一人でしたが、その状況が長く続けば、愛しているはずの子どもをいつしか煩わしく感じてしまいます。夏休み後に障害を持った子どもの関連した事件が起こってしまうのは、そのような要因も一つあるでしょう。

そこで、当事者である私たちが行動しなくてはと思い立ちました。協力してくれる人たちを集い、NPO法人WITH（ウィズ）を立ち上げ、日中一時支援である障害児放課後クラブの「ピース」、障害の理解を広める活動をするキャラバン隊「ピュア」を始めました。創設してからの3年間は法人ではなく、任意の団体で活動していました。当初から様々な課題がありましたが、地域の皆さんに助けられながら現在まで活動しています。

「ピース」では、医療従事者の寄宿舍であったところを使用させて頂いたり、不安なことをその都度相談にのってもらうなど、地域の協力で支えられています。定員は1日6名で、職員2名とボランティアさんに手伝ってもらいながら活動しています。学校からピースまで車で送迎するのですが、利用の日ではない子どもまで車に乗ってこようとしてしまうほど、子どもたちはとても楽しみにしています。ピースでの子どもたちは、それぞれに自分のやりたいことをやっていますが、同じ境遇の子ども同士で過ごす環境は、家庭とは違って様々なことを学んでいる様子が伺えます。また、晴れた日は公園に出掛け、地域の人たちと触れ合う機会としています。それは、障害に偏見をもたないよう、なるべく多くの人から愛されるようにという想いでいるからです。



私たちは、障害を持った子どもの子育て支援の必要性を多くの人たちに伝え、広めていきたいと考えています。そして、障害を持った子どもも、社会の一員として認められるように願っています。

【取材圏域：海匝ネットワーク（海匝圏域）】

問い合わせ先

NPO 法人 WITH

代表 林 幸子

住所 匝瑳市大寺1861-7

電話 0479-74-0983



ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

ちば若者キャリアセンター ジョブカフェちば

《出張版セミナー》面接練習セミナーin 香取

[内容] ジョブカフェちばは15歳から39歳の若者を対象に総合的な就職支援を行っている機関です。今回出張版セミナーとして、面接の基本を理解し、自分の課題を明確にすることを目指すため、面接練習セミナーが行われます。当日は講義形式ではなく、グループワークなど体験型のセミナーが行われます。就職活動で悩んでいる若者は、ぜひ参加してみてください。

前半：面接時の注意点、ポイントの確認

後半：前半の注意点を意識して、実際に面接練習をします。自己PRを話してみよう！

[日時] 平成24年8月17日(金) 13:00～15:30 集合時間12:50

[会場] 香取市役所 本庁501会議室

[対象・定員] 15歳～39歳までの就職を希望する若者 20名(予約制)

[予約・問い合わせ] 香取市：0478-50-1212

ジョブカフェちば：047-426-8471

[持ち物・備考] 希望者多数の場合には対応できない場合があります。

このセミナーは、就職活動の実績として認められますので「雇用保険受給資格者証」をお持ちの方は当日ご持参ください。

夏休みだヨ！CMOと盲ろう者とのスペシャル交流会

[内容] 来年8月に千葉の幕張メッセで『全国盲ろう者大会』が開催されます。この大会では学生や一般の方のボランティアの協力が必要です。盲ろう者と接したことがない方々に盲ろう者のことを知っていただくために「CMOと盲ろう者とのスペシャル交流会」を企画しました。

CMOは千葉・盲ろう者応援団のことで、皆さんのお越しをお待ちしています。

[主なプログラム] 1. 盲ろう者ドッキリ！生座談会

2. 全国盲ろう者大会ってどんなイベント？

3. いろんなコミュニケーション手段を使って盲ろう者と交流してみよう！

[日時] 平成24年8月31日(金) 13:00～16:00 (受付開始12:30～)

[会場] 千葉中央コミュニティセンター6階ホール

[定員] 100名 **[参加費]** 無料

[予約・問い合わせ] NPO 法人千葉盲ろう者友の会

Email: taka21@icntv.ne.jp

氏名・性別・障害の有無・団体名または学校名を明記し、メールにて申込みしてください

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：海匝ネットワーク(海匝圏域)旭市イの1775

TEL:0479-60-2578

FAX:0479-60-2579

編集：いちほ福祉ネット(市原圏域)市原市東国分寺台3-10-15 TEL:0436-23-5300

FAX:0436-23-5225

内容についてのお問い合わせは、いちほ福祉ネット(担当：高地)までお願いします。